2010.10.3 島根日日新聞

お茶の間 経済

「門番」エコマーク認定

業界初、小松電機産業の高速シートシャッター

エコマーク認定を受けた「門番」GF型

高速、高気密のシートシャッターや、上下水道計測、制御、監視システムなどの生産、販売を行っている小松電機産業株式会社（松江市乃木福富町、小松昭夫社長）が製造する高速シートシャッター「門番」シリーズがこのほど、財団法人日本環境協会エコマーク事務局が行っていた、環境保全に役立つと認定された商品につけられるエコマークの認定を受けた。

今回、認定を受けたのは「門シリーズのGF05-120型、KV11-151型、WV311-141型、SV261-141型。主な認定要件としてマ製品は高速かつ高頻度な開閉が可能な構造に上り、空気の流出入量を最小限に抑えられるマ製品の気密性能はJIS A 4702のA-1等級に相当するマ製品の主要構造部分のプラスチックからの重金属などの有害物質の溶出については、基準値以下であるマ保守点検を請け負う体制が整えられており、定期交換部品はリサイクル・再資源化など適正な方法で処理されるーなどの点が評価された。特に開閉速度は、一般的な鋼製シャッターに比べ約十倍から三十倍の速さを実現させ、冷暖房効果を高め屋内からのエネルギー流出を低減することでCO2などの温室効果ガス排出削減に効果を発揮するとしている。

認定を受けて、同社の小松社長は「今後の新しいビジネスモデルとして、商品開発に当たって何のために作っているのか、というコンセプトが求められてくる。エコマークはその入口。シートシャッターのマーケットが拡大してくる。そこで得た知恵をもって、アジアの歴史的順序を対立の文化から共生の文化へ導き、解決をはかって行きたい」と語った。